



まきのほら 市議会だより

第17号

平成22年
2月5日発行



餅つき大会（坂部）

牧之原市文化協会榛原写真部 村田 弘志さん撮影

12月定例会 会期 12月2日(水)~ 12月22日(火)

議案を慎重にチェック!!

組織機構改革の検証!!

表紙の写真を大募集!!

定例会概要 2

一般質問 4

お知らせ 9

病院に2度目の追加支援

5億4,000万を可決!!



平成21年第8回牧之原市議会定例会
会期12月2日から12月22日（21日間）

今回の定例会では、21年度一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正などの議案10件が提出され、常任委員会での慎重な審査を経て、原案どおりすべて可決されました。

なお、一般質問は15・16日の2日間行われ、8人が当面する課題について見解をただしました。

補正予算

平成21年度牧之原市一般会計補正予算
〔全員可決〕

議案質疑

問 市長の考える将来の榛原総合病院の姿とは。（太田）

答 少なくとも二次救急をしっかりとこなせる機能をもたせていきたいと考えています。

問 榛原総合病院の累積赤字が10億円と報道されたが、指定管理者移行に、その金額が妨げにならないか。

榛原総合病院の現状を、市長の肉声で市民に広報すべきではないか。（鷺坂）

答 過去の負債まで、徳洲会にお願いする訳ではないので、支障はありません。

市民への広報は、徳洲会と正式な書面を交わした後にお知らせし、広報の仕方について

ては今後検討します。

問 病院及び市の財政健全化に向け、財政計画を示す必要があると思うがどうか。

老人保健施設の設置について、明確にされていない点が多いが。（大石）

答 財政計画については、早急に作成します。老人保健施設については、現在、認可の関係で県と調整中です。

問 市内にある区の防災センターへ使われる災害復旧費の使用について、不平等感があるのではないか。（川島）

答 不平等感をできるだけなくす趣旨で物事を考えていかなければならないので、今後研究してまいります。

人事案件

人権擁護委員の候補者に、尾崎寿光氏（地頭方）を推薦することに同意した。

農業委員会委員に、赤堀節子氏（菅ヶ谷）、また小杉康男議員を推薦した。

質疑あれこれ

12月定例会に上程された議案の中から
質疑、賛成・反対の討論が繰り広げられ
た主なものを、お知らせします。

榛原総合

病院運営資金

条例の一部改正

○牧之原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
〔全員可決〕

議案質疑

問 勤務時間が短縮された分、残業などが増えないか。(中山)
答 県内13市町では実施済みで、昼休みを15分増やし、始業・終業時間は変わらず、残業などには影響がでていません。

その他可決された議案一覧

平成21年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算
平成21年度牧之原市土地取得特別会計補正予算
静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約について
牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
市道路線の廃止について
市道路線の認定について
財産の取得について

〔全て全員可決〕

付託議案審査

総務建設委員会

委員長 小杉康男

静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約について

主な質疑は、滞納整理機構が軽自動車税に係る事務まで行うよう拡大されるのか。滞納

整理機構へ支払う負担額は、どう決定されるのかなどの質問に対して、滞納整理機構では新たな事務として、軽自動車税の申告・審査・データ化などを行い、事務の一元化による効率化を図っていく。人口割額や各市町の処理件数の実績に基づいて負担額を決定するというものでした。

牧之原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

主な質疑は、7時間45分勤務に改めるというものは、昼休みを1時間にすると意味なの

かなどの質問に対し、人事院が民間企業の勤務時間を調査して、その結果を基に、国から指導があり、7時間45分に改めるもので、牧之原市では2年前から昼休みは1時間としている。今回は、始業時間または終業時間を15分変更するものですとの回答でした。

市道路線の認定について
市道路線の廃止について

主な質疑は、スズキ自動車社員及び関係者が通行しないか近くに公民館があり、地元住民に配慮して欲しいとの質問に対し、社員は、基本的には萩間東西線を利用し、予備的に関係者が利用する。安全対策は、協議し対応するとの回答でした。

牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

質疑はありませんでした。

5議案とも討論はなく、採決の結果、全員賛成で可決しました。

付託された議案は、慎重に審査され、その経緯と結果を、本会議で委員長が報告し、採決された。

ここが聞きたい！！

市政を問う

各議員の一般質問や、定例会等の
会議録は、市ホームページで
ご覧いただけます。

一般質問とは、議員が執行機関市
や教育委員会など）に対し、一般事
務全般にわたつての執行状況や将来
の方針などについて、事実の説明を
求めたり、または所見をただすこと
をいいます。
牧之原市議会では、1人の質問時
間は、質問・答弁含め60分以内。質
問方法は、一問一答方式または一括
方式が選択できます。
12月定例会では、8人が一般質問
に立ちました。

組織機構 改革の検証

太田 佳晴 議員

問 平成20年4月
から行われた
市役所の組織のフ
ラット化は、市の
貴重な財産でもあ
る職員を消耗する
だけで、育成する
機能を果たしてい
ない。

また、仕事への
意欲を大きく後退
させ、早期退職者
を増やしている要
因でもあることから、早期に改
めるべきと思うが、市長はどの
ように考え、対応していくつも
りか。

答 フラット化は、社会情勢の
変化に対応し、新たな行政
課題や複雑・多様化する市民
ニーズに対し、市民満足度の高
い行政運営を行なうために導入
をしました。

しかし、現状は職員意識の変
革や管理職のマネジメント力、
職員間のコミュニケーション不
足があり運用がうまくいって
いないところもあります。

今後は、定期的な研修や状況
把握により、フラット化の意義
や組織運営の方法、管理職の役
割などを再確認するとともに、
仕組みについても、職員の声を
聞きながら適切な運営が出来る
よう、改めるべきところがある
ば改めます。



市民ニーズに応える窓口

新型インフルエンザに関する医療体制

桑田 幸一 議員

問 榛原病院は正常な機能提供ができません。医療体制の取り組みは大丈夫か。

答 入院が必要な患者が発生した場合、近隣の総合病院での入院治療を勧めています。タミフルなど抗ウイルス薬や検査

セットは各医療機関において確保されています。

問 市民は、急病救急対応のできる榛原病院の再開を待っています。内科医師の「前倒し派遣」を、市長自ら徳洲会に要請すべきと思うが。

答 1日も早く移行ができるよう事務手続きを進めていきます。内科医師や当直医の「前倒し派遣」は要請しています。

問 ワクチン接種の公費助成や生活困窮者に対する医療費窓口負担の軽減は考えているか。

答 優先的接取対象者のうち、市民税非課税世帯の方に、

接取費用の補助を行い、負担の軽減を図っています。

資格証明書発行世帯には、通常の3割負担で受診できるように配慮しています。

問 「無保険」の状態に置かれている児童・世帯はないか。

答 中学生以下の子ども達には保険証を発行しています。

事前に本人や家族からの相談をふまえ、市と医療機関で連絡調整を図って対応しています。

問 教育現場で今後考えられる課題はなにか。

答 「手洗い・うがい・換気・検温」の4運動の励行、学校行事の自粛など努めてまいりましたが、学校での感染予防対策の難しさ、限界を感じています。今後、季節性インフルエンザの発生も予想され、授業時間の確保も心配されています。



お茶でのうがい(勝間田小)

中野 康子 議員

問 茶業緊急支援策として、茶価安定基金制度の創設を図るため、県や全国との調整に当たる」との公約ですが、どのような提案をするのか。

答 全国の茶産地で様々な考え方があります。基金の原資、制度の内容等々課題はありますが、茶業を守るために必要な制度です。

県も「茶価安定のために、真剣に検討すべき時期。全国で歩調を合せることが大切」と発言しています。意欲ある農家を積極的に応援していきます。

問 生産量の2割削減の提案は、茶園の減反、作物転換か。

答 2割削減は明示していません。

高齢茶樹の改植や一茶後の中切更新を推進するなど、生産者サイドで全体の流通量を調整し、茶価の安定化

を図りたいと考えています。

問 「高速光通信網の整備を相良地区から導入する」との公約ですが、榛原地域の未整備地区への導入はいつ頃か。

答 財源確保など、諸条件が整った段階で順次整備します。

問 県内の約8割の世帯で、高速光通信のサービスを受けている。牧之原市内の産業の振興や行政サービスの向上のため、積極的に整備を進めるべきだ。

答 市内の中小企業、医療、福祉施設などにも導入できるよう、電気事業者主体で整備します。



厳しさを増す茶業

マニフェスト2009 市長の選挙公約

中山 香議員

入札業者選定に 市の責任は

市が関わる事業で、落札業者が事業実施をしない未完成的な事業については、業者選定をした市にも責任があるのでは。

問 白井工業団地B区画は、売却後15年を経過しているが、事業着手されていない。

答 B区画は、製薬会社が所有しています。新薬の製造許可が取得できないことから、新工場建設に至っておりません。

問 中里区蛭ヶ谷では、国の住環境整備事業が未完了である。

この事業は、農地区画整備がされ、整備区画内に宅地分譲地ができ、一般に販売する計画である。市は、宅地造成・分譲を民間業者に任せ、事業を完成させることにした。しかし、現場は入札当時のままである。

答 事業者からは、コスト面での地盤改良計画に時間を要し遅れが出ています。平成22年

1月に許可証交付を予定し、速やかに造成工事に着手し、5月を目途に完成したい」と聞いております。

問 質問は、事業の遅れは市にも責任があるかどうか、である。

答 売買契約書には、工事期限として地盤改良の交渉、関係業者への指導を行い、早い段階での事業実施と安い分譲地販売価格を目指してきました。

問 市の責任は、どうなのか。答弁になっていない。それは、5月の事業完了は確実か。

答 計画通り事業完了となることを願っています。



未だ着手されていない白井工業団地

大石 和央議員

問 発生するごみの約8割が、焼却・埋め立てされている。

平成19年度の1人当たりのごみ発生量は、1日平均1020g。毎年度総予算に占めるごみ処理費は4〜5%である。今後、ごみの焼却をどうするのか。

答 旧町二つの広域施設組合でごみ処理されており、焼却施設は老朽化してきています。そこで、牧之原市及び御前崎市、吉田町と事務レベルで検討をしました。途中で吉田町が抜け、2市で検討結果をまとめています。焼却施設については、建設検討委員会を設置していきます。

問 焼却施設検討の前に、焼却ごみを減らし、リサイクル率を高める、ゼロ・ウェイスト（ごみゼロ）の検討が必要だが。

答 生ごみや剪定枝、廃食用油などを資源化する、バイオマスタウン構想

ごみゼロ宣言を求める

の策定を進めています。来年度は協議会を組織し、これらを推進してまいります。この中で、話し合えるのではないかと考えます。

保育園民営化の 合意形成は

問 保育園運営の基本計画が示されたが、民営化についてのどのように合意されたのか。

答 昨年から「保育園のあり方懇談会」で検討し、今年3月に意見書をいただき、これに基づいて保育園職員中心で基本計画策定委員会を設置して、進めてきました。

問 懇談会の合意形成が不十分だったとの意見があるが。

答 議論というのは、100%全員が賛成しないとまとめられないのでは前に進みません。民間委託は、平成22年度に事業者選定、23年度は移行期間、24年度に実施していきます。



完成間近な細江保育園

市長、副市長、 教育長の説明責任

鷺坂 隆夫 議員

市長は、トップとして決めるべき時には、自ら決めるべきである。家で例えると家長であり、職員は時には家族である。
市長としての厳格さも必要だが、誉めることも忘れてはならない。職員は味方です。

問 市長は、職員互助会からの「給与削減に至った経緯と今後の見通しについて、職員が理解し、協力できる説明をしてほしい」など、293件もの要望・意見・アドバイスに対し、どう対応するのか。

また、職員の士気を、再度高める必要があると思うがどうか。

答 全職員との面談を考えています。生の声を聞き受けとめ、問題を解決していきます。

先般の答弁で、市長は5万人の市民の代表でもあり、時には職員の『敵』になる」という表

現は間違いでした。『対峙』という言葉が適切でした。改めるべきところがあれば、改めていきます。

問 副市長不要論の声もある中、副市長はどのように職員からの信頼回復に努めるのか。

時には市長に対し、反対の意見も言えるよう努力してほしい。

答 職員意見を、批判としてではなく謙虚に受けとめ、副市長の立ち位置をしっかりとつていきたいと思えます。

問 教育長も同様に、どのように教育界からの信頼回復に努めるのか。

答 自分に寄せられた意見を謙虚に受けとめ、反省すべき点は改善に努め、誠心誠意取り組んでいきます。



職員の士気をどう高めるか

行財政運営はどうする

名波 富幸 議員

問 平成22年度の予算編成の方針は、

答 予算編成の方針として、戦略プランの実施、行政改革の推進、財政健全化、エコアクション21の推進を重点施策

に上げ、事業の優先順位付けをします。

問 市税の減少と榛原病院への支援

金増大により財政が逼迫している。歳出削減のために補助金のカット、入札制度の改革を考えているか。

答 補助金の大幅な削減はさけられない。特に運営費補助

については、経常経費の減少をしていきます。入札制度については、公募型一般競争入札を導入し改革を進めます。

問 事業の見直し、縮減、廃止

などを考えているか。また国や県が実施した事業仕分けを牧之原も導入する考えはあるか。
答 事業の効果や決算議会での審議を勘案し、現場を熟知

している職員が市民サービスを効率的、効果的に提供するために事業の精査をしていきます。

問 市民が榛原病院をどうしても残したいなら市民も応分の負担をすべきとの声がある。超過課税をする考えはあるか。

答 幅広い社会基盤整備を進める上で重要だが、不況により個人所得が落ち込んでいるため、市民から応分の負担を求めるとは難しいです。

問 榛原病院の指定管理者への移行が4月1日と想定した場合、支援金はどれ位になるのか。

答 指定管理者への移行時期や病院運営の諸条件も決定していないので、追加支援額は説明できません。



エコアクション21で、
環境活動レポート部門優秀賞を受賞

榛原総合病院の情報と救急医療の確保

増田 伸三議員

榛原総合病院について市民は不安を抱えている。以下の項目について回答していただきたい。

問 指定管理者制度への移行の見込みは。

答 沖縄徳洲会グループの定款変更などの手続きにより、国の許可

が得られる期間を考慮すると、移行時期は3月または4月と想定されます。

問 移行までの間、地域医療の確保はどうするか。

答 総合内科医師や当直医の前倒し派遣を徳洲会に要請しています。また救急患者の受け入れについては、志太地域公立3病院との連携の下に受け入れ体制をお願いしておりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

問 市民は何が協力できるか。

答 「榛原総合病院だより」掲載の外来診療などを参考にしてください。*コンビニ受診を避け、かかり付け医での受診をお願いします。

問 市民の不安をやわらげ、無責任な流言飛語を防ぐために説明会を開く用意はあるか。

答 状況報告についてはホームページや「広報まきのほら」12月20日号に掲載し、市民の皆様にお知らせします。

また、市民を対象とした説明会は、徳洲会との協議の進展状況を見ながら指定管理協定書の締結後、診療科目や救急医療体制など、今後の病院運営について市民説明会を開催したいと考えています。

* コンビニ受診とは、緊急性のない軽症患者が、コンビニに出掛けるような軽い気持ちで、休日や夜間の時間帯に、救急医療を利用すること。



地域医療の岩
榛原総合病院

市民の声!!

(議会を傍聴して)

12月議会 傍聴者の声

このような意見がありました!

*市民の声は、市ホームページに掲載されています。

議員間での質問内容の事前調整を綿密に行ってください。毎回気になりますが、重複質問が多すぎます。

事前に調整は行っていますが、各議員による訴え方が違う点や、同様の内容でも市長から納得できる答えがない場合には、再度質問することも議員の責務であると考えます。ご意見を参考に、よりよい議会運営ができるように、努めてまいります。

質問議員は、もっと時間を有効に使う様に期待します。60分を使い切る、それだけの質問内容、表現方法、組み立て等、事前準備をしっかりとってください。

議会開催時期(月)は、どこが決めるのですか。

牧之原市議会定例会規則で毎年2月、6月、9月及び12月と定めています。



表紙写真 大募集!

あなたの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか!?

市民に親しまれる「議会だより」への取り組みの一環として、「第18号議会だより（5月15日発行予定）」の表紙に掲載する写真を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

▶ 内 容

- ・今回のテーマは「元気なこども」
- ・テーマに関連した行事や風景などで、発行日にあった季節感のあるもの

▶ 応募資格

- ・牧之原市在住の方、牧之原市に通学・通勤されている方

▶ 応募規格

- ・写真は、牧之原市内で撮影したものに限りします。
- ・フィルム写真の場合はL版以上横型。写真データの場合は300万画素以上1MB未満横型。
- ・写真は応募者本人が撮影し、被写体の承諾を得たものを応募して下さい。
- ・表紙に掲載した写真の人物並びに被写体の持つ諸権利（特に肖像権）に関して、当委員会は一切の責任を負いかねます。
- ・未発表・未公開のオリジナル作品に限りします。
- ・編集上、作品をトリミング（切り抜き）して利用することをご了承願います。
- ・採用作品の著作権は、市議会に帰属します。

▶ 応募方法

- ・議会事務局までご応募下さい。（郵便での応募も受付ます。応募の際には、必ず応募者の住所・氏名・電話番号、撮影場所をご記入のうえ、ご応募下さい）
- ・応募写真は返却いたしませんので、ご注意下さい。

▶ 応募締切

- ・平成22年4月15日（木） *当日消印有効

▶ 選定方法

- ・応募が多数の場合、議会広報特別委員会が厳正な審査の上、決定します。

▶ 送付先

牧之原市役所 相良庁舎 議会事務局 〒421-0592 牧之原市相良275番地 Tel0548-53-2650
E mail gikai@city.makinohara.shizuoka.jp

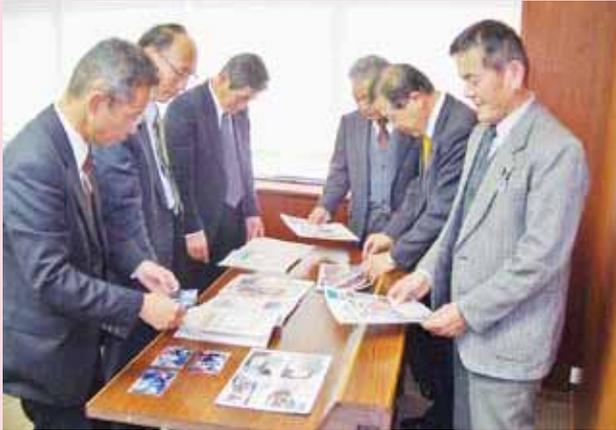
- *不明な点につきましては、議会事務局までお問い合わせ下さい。（53-2650）
- *まきのはら市議会だよりは、年4回の発行を基本としています。



藤枝救急医療センターを視察
文教厚生委員会



慎重に議案を審査
総務建設委員会



議会だよりを編集
(議会広報特別委員会)

2月定例会の日程

2月26日	提案説明
3月 5日	本会議
10日	一般質問
11日	一般質問
12日	一般質問予備日
26日	最終日

相良庁舎4階議場 9:00 ~
詳しいことは 議会事務局

議会広報特別委員会

委員長	大石 和央
副委員長	良知 義廣
委員	良知 幸一
	赤堀 隆弘
	澤田 勳
	増田 伸三

昨年ことぞとの市議会議員選挙により市民の皆様から選ばれ、議員活動を始めて3ヶ月が経ちました。その間、臨時議会、12月定例議会を経験させてもらい、先輩議員の颯爽さつそうとした活躍ぶりも拝見させていただきました。

ただ、議会の内容が、榛原総合病院問題、人事案件、職員給与削減問題に多くの時間を割かれたように感じられ、発展的な明るい展望をみる事ができなかったのが残念と言えれば残念だった。本年は、市との二元体制の中で、危機管理意識を持ちながら市民の目線に立って、市執行機関の行政の進め方、財政運営のあり方をしっかりと見極め、事に臨んでいくこととしたい。

そして、財政危機の中にあっても、何とか活路を見出し、半歩でも好転させて飛躍の年にしていきたいと念じています。

良知義廣

編集後記

牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されています。

〒421-0592 牧之原市相良275番地 電話0548(53)2650 FAX 0548(52)1116

牧之原市ホームページ <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp> 市議会メールアドレス gikai@city.makinohara.shizuoka.jp

「まきのほら市議会だより」は再生紙を使用しています。